



2009年2月12日
六本木アートナイト実行委員会

「出会い」をテーマに、様々なアートが集結する「六本木アートナイト」 特別顧問に安藤忠雄氏が就任

ヤノベケンジ、日比野克彦など参加アーティスト達の一夜に込める想い。

「六本木アートナイト」は、「出会い」をテーマに様々なアートが六本木エリアに集結し、2009年3月28日（土）日没から29日（日）日の出にかけて、一夜限りの変貌を遂げるアートの祭典です。

当日は、現代社会におけるサヴァイヴアルをテーマとした作品で世界に名を馳せたヤノベケンジの代表作とも言える体長7.2mの巨大機械彫刻《ジャイアント・トラヤン》が六本木ヒルズアリーナに登場し、迫力あるパフォーマンスを展開します。また、パブリックアートを数多く手がける日比野克彦のアートディレクションによる、約2m立方のコンテナアート《六本木キューブ》が街全体（20個）に設置します。そして、イベント来場者が参加できるプロジェクトとして、光る風船を持ちながら夜の街をパレードする、平野治朗による壮大な光のアートプロジェクト《GINGA》など、六本木の街をキャンパスに見立て、数多くのアートプログラムを展開していきます。

さらに、開館延長を実施する国立新美術館とサントリー美術館ではスペシャルライブイベントを実施、六本木ヒルズ内や東京ミッドタウン内の店舗でも終夜営業を実施するなど、六本木の街全体が夜を徹してアートに染まります。

この度、街とアートが融合することで、さまざまな「出会い」が織りなす驚きと発見に満ちた一夜が体感できる「六本木アートナイト」の特別顧問に、安藤忠雄氏の就任が決定しました。

六本木アートナイト実行委員会 特別顧問 安藤忠雄氏



アートは眠らない。
人間の感性も眠らない。日没から日の出まで、それは刺激を求め続けている。
六本木アートナイトは、新しい文化を発信する試みである。
このイベントは、きっと新たな地平を切り拓くと信じている。

六本木アートナイト実行委員長 森美術館館長 南條史生



六本木アートナイトは、「出会い」をテーマに六本木の街の中に様々なアートを展開し、一夜限りのアートの饗宴を楽しんでいただくという試みです。六本木エリアにある美術館に加え、周辺のギャラリーや商店、レストラン等にも参加をいただく予定です。ちょうど桜の花がほころびて、夜そぞろ歩くのが楽しいこの時期、街のあちこちの公共空間で「人」と出会い、「アート」と出会い、「感動」と出会う、このユニークなイベントをぜひお楽しみいただきたいと思います。

東京文化発信プロジェクトについて
東京ならではの芸術文化の創造・発信、芸術文化を通じた子供達の育成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体等と協力して実施するもので、演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野で文化イベントを展開していきます。

テーマプログラム 参加アーティストのメッセージ

【FACE THE MOMENT (フェイス・ザ・モーメント)】

ヤノベケンジ「ジャイアント・トラヤンの大冒険」

[場所：六本木ヒルズアリーナ]

2004年、森美術館で開催された「六本木クロッシング」で、初めて表舞台に立った「トラヤン」が、7.2mの巨大ロボット「ジャイアント・トラヤン」になって六本木ヒルズに帰ってきます。イマジネーションの塊である「トラヤン」の神秘性を形にしたのが、「ジャイアント・トラヤン」。作品というより、仏師が仏像をつくる時のような敬虔な姿勢と、人知を超えた存在を掘り起こす気持ちで制作しました。誕生の地・六本木ヒルズで、火を噴き大暴れをする「ジャイアント・トラヤン」が、人々にどのようなインパクトを与えてくれるのか、今から胸を躍らせています。



ヤノベケンジ プロフィール

1991年京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。1990年初頭から現代社会におけるサヴァイヴァルをテーマに、実際に装着したり乗って動かしたりできる大型の機械彫刻作品を数多く制作。21世紀の幕開けとともに、リヴァイヴァルへとテーマを移行させ、既成のアートの枠組みを超えた創造的活動を次々と展開している。
ウェブサイト「YANOBE KENJI ART WORKS」<http://www.yanobe.com/>



ヤノベケンジ 《ジャイアント・トラヤン》 2005年 撮影：豊永政史

【HUNT THE ART (ハント・ジ・アート)】

日比野克彦「キューブからの指令」

[場所：六本木ヒルズ・東京ミッドタウン 他エリア内]

アートナイトならではの灯りをテーマとした若手作家の作品が六本木界隈に出現します。

春の宵はアートの蕾をほころばせ、太陽が六本木からみて地球の反対側に周っている頃、灯りをともし、ナイトの民を迎え入れます。作品はコンテナキューブによって運ばれ、その箱の中でこの日一日だけ咲き誇り、そしてまた運ばれていきます。それはまるで一日の中で太陽が現れ、そして去るように。

H I B I N Oの作品はどこにあるのか、それはミステリアス。コンテナキューブの灯りが灯台かの如くあなたを導いてくれるかも。



日比野克彦 プロフィール

1958年岐阜市生まれ。東京芸術大学大学院修了。在学中にダンボール作品で注目を浴び、国内外で個展・グループ展を多数開催する他、舞台美術、パブリックアートなど、多岐にわたる分野で活動中。近年は各地で一般参加者とその地域の特性を生かしたワークショップを多く行っている。ウェブサイト「CAFE HIBINO NETWORK」<http://www.hibino.cc>

※国立新美術館では「アーティスト・ファイル 2009」展の出品作家3名(石川直樹・大平寛・村井進吾)による「3つのアート・キューブ」が展示されます。

【CHANGE THE SCENERY (チェンジ・ザ・シナリー)】

平野治朗《GINGA》

[場所：国立新美術館～六本木ヒルズ～東京ミッドタウン]

無垢な自由と希望のシンボル「風船」に、やはり希望の象徴「光」を入れて、夜空に浮かべてみた。空に浮かんでいたのは「なんでもない」けれど「不思議な存在感」があるものだった。今回はその「GINGA」を千の人々に持って六本木の街に溢れてもらい、この街の歴史のキーポイントに設置します。人々が夢見る夜のあいだ「GINGA」は空に帰ろうとするような、なにかを届けようとするような動きを続け、そして新しい朝を迎えます。



平野治朗 プロフィール

金沢市生まれ。1987年に松蔭浩之とArt Unit Complexo Plasticoを結成し、その後個人またはユニットで活動。最近の主な作品に、宇宙の記憶を映像と音で体感させる《120億光年》(水戸芸術館)や、環境彫刻《GINGA》(越後妻有アートトリエンナーレ、2003年)などがある。



平野治朗《GINGA》 2003年 越後妻有アートトリエンナーレ 2003 (新潟)

更新情報

■ テーマプログラム【CHANGE THE SCENERY (チェンジ・ザ・シナリー)】

平野治朗《GINGA》→参加募集要項決定

- ・ 光る風船を持って、夜の六本木（国立新美術館～六本木ヒルズ～東京ミッドタウン）をパレードする壮大な光のアート《GINGA》への参加者を一般募集いたします。
- ※一般受付は3月上旬頃、公式ウェブサイト www.roppongiartnight.com にて募集を開始いたします。

■ 六本木ヒルズ

・ 深夜営業店舗一覧

時間帯	ゾーン	フロア	店舗名	カテゴリー
～1:00	HS	B1F	バリ カフェ プトゥリ	バリスタイルカフェ
～2:00	WW	5F	ベジタブルハウス ヤサイヤマイ	和食
～3:00	WW	5F	ザ キッチン サルヴァトーレ クオモ	イタリアン
～3:30	KD	2F	イル・ムリーノ ニューヨーク ラウンジ コンフィ	バーラウンジ
～4:00	WW	5F	ロッポンギ J(ゼン)	インターナショナルキュージーヌ
	WW	5F	ロッポンギ J(バンブーバー)	レストラン&バー
	WW	2F	ハートランド	スタンディングビアバー
	HS	2F	香港茶樓	香港点心・家常菜とワイン
	KD	1F	スターボックスコーヒー ツタヤトウキョウロッポンギ店	スペシャルティ コーヒーストア
	KD	1F	B bar Roppongi	バー
～5:00	NT	1F	タリーズ コーヒー	スペシャルティ コーヒーストア
	NT	1F	コールド・ストーン・クリーマリー	アイスクリーム
	NT	1F	クーツ	ジャパニーズスタイル ナチュラル & オーガニックカフェ
	NT	1F	プティ キャトルズ	モンパルナス発ガレット
	WW	5F	居酒屋 六蔵	焼酎と魚料理
	WW	5F	クシノボウ	串揚げ
	WW	5F	リゴレット バーアンドグリル	カジュアルダイニング
	WW	2F	スターボックスコーヒー ウェストウオーク店	スペシャルティ コーヒーストア
	HS	3F	カーテンコール	カフェダイニング&ザ・バー
	HS	B2F	毛利 サルヴァトーレ クオモ	ジャポリタン
	HS	B2F	プエナ ガーデン カフェ	ラテン食堂

- ・ 東京シティビュー（展望台）
開館時間 25：00 まで（最終入館 24：00）を 3/28（土）のみ翌朝 6：00 まで延長。
一般営業の発券終了後、24：00 以降の入館料は 500 円。
- ・ 森アーツセンターギャラリー
3/28（土）「東京コンクール・デレガンス」は 23：00 まで開館延長
- ・ マドラウンジ
週末の特別イベントを開催。22：00 オープン、翌朝 5：00 クローズ（詳細調整中）

■ 東京ミッドタウン

- ・“Tokyo Midtown ART BOX”のプログラム・出演者が決定
 - 音楽と映像を組み合わせたパフォーマンス
出演者：metalmouse（音楽）・ampomtang（映像）
 - 古典落語の名手による落語
出演者：落語家 立川談春
 - 東京ミッドタウン・デザインハブ九州大学芸術工学部東京サイト協力のもと、学生達が制作した映像作品上映
制作：九州大学 芸術工学部 映画研究部
 - アートディレクターとしても活躍する気鋭華道家のフラワーパフォーマンス
出演者：華道家 前野博紀
 - スペシャル・ワンナイト・JAZZ セッション
出演者：FUYU Element 3
- ・特別企画 決定
【21_21 DESIGN SIGHT】TEL 03-3475-2121
開館延長を実施 3月28日（土）11:00～22:00

・深夜営業店舗一覧

時間帯	ゾーン	フロア	店舗名	カテゴリー
～5:00	プラザ	1・2F	A971	和バル&カフェ
～5:00	プラザ	1F	orangé	シャンパンビストロ
～9:00	プラザ	2F	SALON BAR YOL	バー
～5:00	プラザ	1F	STARBUCKS COFFEE TOKYO MIDTOWN COMPLEX STUDIO	カフェ
～5:00	ガレリア	B1F	Baker Bounce	ハンバーガー・サンドイッチ (当日は、ドリンクとスナックメニューのみ)

■ 国立新美術館

- ・「コンサート」→「アーティスト・ファイル 2009」スペシャルライブの出演者が佐藤芳明（Acc）、田中邦和（Sax）に決定

■ サントリー美術館

- ・「ミニライブ」→「川井郁子スペシャルミニライブ」に決定
ヴァイオリニスト 川井郁子 [場所：3F 展示室 吹き抜けスペース]

音楽とは別の素晴らしいアートに出会うとき、音を奏でる気持ちが更に高められていくのを感じます。素晴らしい美術品や工芸品の中で、そこに込められた魂に自分の中の柔らかい部分が引き出されていくのです。また、美しいガラス同士の対話も楽しみながら演奏したいと思います。皆様に、アートの相乗効果によるイメージの広がりを是非感じて頂けたら嬉しいです。



川井郁子 プロフィール

東京芸術大学卒業、同大学院修了。大阪芸術大学(芸術学部)教授。国内外の主要オーケストラをはじめ、ポップスアーティストやバレエ・ダンサー、プロスケーターなど、ジャンルを超えて幅広く共演。TVやCM、映画、舞台音楽の楽曲提供も手がける他、現在放送中の『川井郁子ハートストリングス』のラジオパーソナリティーやテレビ番組『ミュージズの晩餐』での司会と演奏を務める。2008年NYカーネギーホール公演を行い大成功を収めた。
川井郁子オフィシャルHP www.ikukokawai.com

■ 六本木商店街振興組合アートプロジェクト

六本木の“顔”が、新たな輝きを放ちます。
[六本木交差点デザインライティング]

六本木の街の中心、六本木交差点。日本はもちろん世界にも知られるそのスポットが、東京タワーなどの照明を担当した、世界的な照明デザイナー石井幹子さんのデザインによるライティングで新たな輝きにつつまれます。高速道路桁下に、国際的な街・六本木にふさわしい個性を創出する光をデザイン。3月26日（木）の夕方に点灯式を開催し、ライティングを開始します。六本木の新たな魅力が、またひとつ誕生します。

六本木の街路灯をカラフルに彩ります。
[デザイナーズフラッグ]

「六本木デザイナーズフラッグコンテスト 2008」の入選作品がフラッグとなり、3月29日（日）まで、六本木の街路灯に登場します。その数は91本。一般公募によって集められた個性あふれるフラッグが、街をカラフルに彩ります。まさに街全体がアートに包まれるプロジェクト。お気に入りを探して、六本木を散策するのも楽しみです。

六本木の意外な表情の数々が一堂に会します。
[六本木フォトコンテスト 入選作展示会]

「あなたの知っている六本木の素顔」をテーマに開催された「六本木フォトコンテスト」。その入選作品が、写真家の立木義浩さんを審査委員長として決定しました。入選作品は、3月27日（金）（仮）より、東京ミッドタウン内の「富士フィルムスクエア」に展示されます。見慣れた街並みも、ファインダーを通すとまた違った魅力を発します。展示会では、六本木の意外な表情にきっと出会えるはずです。

■ 参加施設/ギャラリー

【施設】

アクシス	港区六本木5-17-1	03-5575-8359
3階 ウィルクハーン・ジャパン		03-5573-2411
2階 ラビアーツ		03-3583-0861
インターリュブケ		03-5573-8846
バング&オルフセン		03-3560-6216
ヨシキン		03-3568-2356
1階 ブラッセリー・ヴァトゥ		03-3568-2080
B1階 日本料理菱沼		03-3568-6588
ル・ベイン	港区西麻布3-16-28	03-3479-3843

【ギャラリー】（五十音順）

アクシスギャラリー	港区六本木5-17-1 AXISビル4F	03-5575-8655
ギャラリー・アートアンリミテッド	港区南青山1-6-24 六本木ダイヤビル3F	03-6805-5280
サボア・ヴィーブル	港区六本木5-17-1 AXISビル3F	03-3585-7365
JIDA デザインミュージアム	港区六本木5-17-1 AXISビル4F	03-3587-6391
ストライプハウスギャラリー	港区六本木5-10-33 3F	03-3405-8108
T&G ARTS	港区六本木5-9-20	03-5414-3227
d-labo	港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー7F	03-5411-2363
東京ミッドタウン・デザインハブ	港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F	03-6743-3776
21_21 DESIGN SIGHT	港区赤坂9-7-6	03-3475-2121
FUJIFILM SQUARE	港区赤坂9-7-3（東京ミッドタウン）	03-6271-3350
Fuji Xerox Art Space	港区赤坂9-7-3 東京ミッドタウンガレリア 3F	03-6271-5260

※各美術館、商業施設、周辺の施設情報に関しては、「六本木アートナイト」の公式ウェブサイト www.roppongiartnight.com をご参照ください。

「六本木アートナイト」開催概要

- 名称：六本木アートナイト
- 日時：2009年3月28日(土) 10:00～3月29日(日) 18:00
 ※コアタイム 3/28 17:59<日没>～3/29 5:32<日の出>
 全体の開催時間内でメインとなるインスタレーションやイベントが集中する時間。
- 場所：六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館、サントリー美術館、
 六本木地区・周辺の一部公共スペースや協力施設など
- 主催：東京都、(財)東京都歴史文化財団
 六本木アートナイト実行委員会
 (国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、森美術館、森ビル(株)、
 六本木商店街振興組合)
- 料金：無料 (但し、一部の美術館企画展およびプログラムは有料)
- 問合せ先：03-5777-8600 (ハローダイヤル)
- 公式ウェブサイト：www.roppongiartnight.com
- 全体スケジュール (予定)

プログラム内容		2009/3/28											2009/3/29																		
		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		コアタイム																													
テーマプログラム													【FACE THE MOMENT】 「ジャイアント・トラヤンの大冒険」 by ヤノベケンジ																		
													【HUNT THE ART】 「キューブからの指令」 by 日比野克彦+3つのアートキューブ																		
													【CHANGE THE SCENERY】 「GINGA」 by 平野治朗																		
エリアプログラム	六本木ヒルズ	アートの大型インスタレーション 等 (高橋匡太、藤原隆洋、ドウ・ジェンジュン、中谷芙二子、開発好明、チャンチキトルネエド、丸山純子)																													
	東京ミッドタウン	映像作品上映											Tokyo Midtown ART BOX					映像作品上映													
	国立新美術館	「ルーヴル美術館展」 「アーティスト・ファイル2009」 ※スペシャルライブ、ギャラリートーク有り											※開館延長(～22:00)																		
	サントリー美術館	「一瞬のきらめき まぼろしの薩摩切子」展 ※川井郁子スペシャルミニライブ、スライドレクチャー有り											※開館延長(～23:00)																		
		「ルーヴル美術館展」 「アーティスト・ファイル2009」											「ルーヴル美術館展」 「アーティスト・ファイル2009」																		
		「一瞬のきらめき まぼろしの薩摩切子」展											「一瞬のきらめき まぼろしの薩摩切子」展																		

※森美術館は展示換えのため閉館中です。

※各プログラムの内容・スケジュールは変更になる場合があります。

本件に関するお問合せ先：六本木アートナイト実行委員会 広報事務局
 株式会社プラップジャパン 担当：名取、山本、藤原
 TEL:03-3486-7355 FAX:03-3486-7507

エリアプログラム 六本木ヒルズ

六本木ヒルズ内の各所に大型のインスタレーションが登場します。また、イベント(音楽、パフォーマンスなど)も開催し、六本木アートナイトを盛り上げます。

- 高橋匡太によるライトアート
[場所：66 プラザ]



高橋匡太 《いるとどりのかけら》2008年
十和田市現代美術館 (青森)
撮影:北村 光隆

- 藤原隆洋による回転式巨大バルーン
[場所：ウェストウオーク]



藤原隆洋 《into the blue》2008年
協力：トロント市、稲畑ファインテック株式会社
展示風景：「ヌイ・ブロンシュ」トロント・イートンセンター (カナダ)

- ドウ・ジェンジュンによる
インタラクティブアート
[場所：大屋根プラザ]



ドウ・ジェンジュン 《私はあなたの跡を消す》2001年
インタラクティブ・マルチメディア・インスタレーション

- 中谷芙二子による霧とライトの
インスタレーション
[場所：毛利庭園]



中谷芙二子 《霧の森》1992年
設計協力：北川原温+ILCD、森岡侑士、
高谷史郎
総合計画：高野ランドスケーププランニング
展示風景：昭和記念公園園子供の森(東京)
Photo:Shigeo Ogawa

- 開発好明による立体作品展示
[場所：大屋根プラザ]



開発好明
《発泡苑イン・ウィンターツアー》2006年
展示風景：ウィンターツアー市 (スイス)

- チャンチキトルネエドによるライブ
パフォーマンス



チャンチキトルネエド
ジョグジャカルタ・マリオボロ市場通りパレード (インドネシア)
2008年

※ 上記はアーティストのこれまでの作品であり、六本木アートナイトでの出展作品とは異なるものもあります。

エリアプログラム 東京ミッドタウン

東京ミッドタウンでは施設プログラムとして“Tokyo Midtown ART BOX”を実施します。通常、夜間は閉館しているイベントスペース「アトリウム」に、Performing Arts を鑑賞する空間（＝“ART BOX”）が登場。一夜限りのイベントを開催します。また、六本木アートナイトの期間中には特別企画の実施や、一部店舗の営業時間の延長、六本木アートナイトに関連する商品の販売など、街をあげて「六本木アートナイト」を盛り上げます。

■ Tokyo Midtown ART BOX 3/28(土)24:00～3/29(日)5:00 [場所:ガレリア B1F アトリウム] <プログラム>

- ・ 音楽と映像を組み合わせたパフォーマンス
出演者：metalmouse（音楽）・ampomtang（映像）
- ・ 古典落語の名手による落語
出演者：落語家 立川談春
- ・ 東京ミッドタウン・デザインハブ九州大学芸術工学部東京サイト協力のもと、学生達が制作した映像作品上映
制作：九州大学 芸術工学部 映画研究部
- ・ アートディレクターとしても活躍する気鋭華道家のフラワーパフォーマンス
出演者：華道家 前野博紀
- ・ スペシャル・ワンナイト・JAZZ セッション
出演者：FUYU Element 3

※なお、「Tokyo Midtown ART BOX」で上映する映像は、東京ミッドタウンに設置している映像モニターでも期間中にご覧いただけます。



metalmouse

ampomtang



立川談春



九州大学 芸術工学部
映画研究部 学生作品
イメージ（既存作品抜粋）



前野博紀



FUYU (Dr.)

※アーティストプロフィールは公式ウェブサイト www.roppongiartnight.com 参照

■ 特別企画

- ・ 【21_21 DESIGN SIGHT】 TEL 03-3475-2121
●開館延長を実施 3月28日(土) 11:00～22:00

■ 店舗一覧

- ・ 【A971】 プラザ/1・2F TEL 03-5413-3210
- ・ 【orange】 プラザ/1F TEL 03-5413-3600
- ・ 【SALON BAR YOL】 プラザ/2F TEL 03-5413-7746
- ・ 【STARBUCKS COFFEE TOKYO MIDTOWN COMPLEX STUDIO】 プラザ/1F
TEL 03-5413-3518
- ・ 【Baker Bounce】 ガレリア/B1F TEL 03-5647-8311

エリアプログラム 国立新美術館

■ 3/28 (土) 開館時間延長(22:00 まで開館)

※最終入館は 30 分前まで

① 「ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち」

[場所:企画展示室 1E]

主催: 国立新美術館/ルーヴル美術館/朝日新聞社/
テレビ朝日

観覧料: 有料 ※料金詳細は別紙ご参照下さい。



ティツィアーノ 《聖母子と聖ステパノ、聖ヒエロニムス、聖マウリティウス》1517 年頃
油彩、カンヴァス© RMN / René-Gabriel Ojéda / distributed by DNPartcom

② 「アーティスト・ファイル 2009—現代の作家たち」 [場所:企画展示室 2E]

主催: 国立新美術館

観覧料: ※3/28(土)のみ無料。料金詳細は別紙ご参照下さい。



石川直樹 《Graveyard/Ilulissat》 2006 年



宮永愛子 《皿の届く朝》(部分) 2008 年
(釜山ビエンナーレ 2008) 撮影: 宮永愛子
写真提供: ミヅマアートギャラリー



村井進吾 《個体1》、《個体2》 2003 年
撮影: 山本糾

■ 3/28 (土) アコーディオン×サクスの JAZZ セッション

「アーティスト・ファイル 2009」展スペシャルライブ(19:00~19:30)

[場所: 1F アトリウム]

出演: 佐藤芳明(Acc)、田中邦和(Sax)

■ 3/28 (土) 「アーティスト・ファイル 2009」出品作家によるアーティスト・トーク

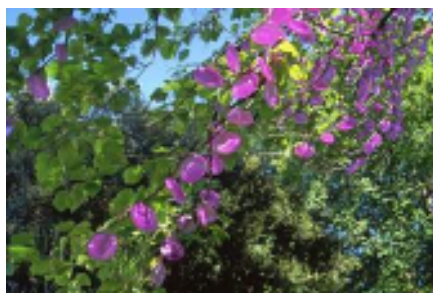
[場所: 企画展示室 2E]

・ 村井進吾(20:00~20:30)、宮永愛子(20:30~21:00)

■ 3/28 (土) 「アーティスト・ファイル 2009」屋外展示作品

平川滋子 《光合成の木》ドキュメント映像の夜間投影 (日没~22:00)

[場所: 屋外]



平川滋子 《光合成の木》 2006 年
(市庁舎公園、フランス、アルジャントウイユ市)
撮影: 平川滋子

- ミュージアムショップ『スーベニアフロムトーキョー』では、3/28(土)と 29(日)に商品をお買い上げ全てのお客様に SFT オリジナルポストカードを 1 枚差し上げます。

エリアプログラム サントリー美術館

■ 3/28（土）開館時間延長(23:00 まで開館)

※最終入館は 30 分前まで ※shop×cafe も 23:00 まで営業<L.O.22:30>

「一瞬のきらめき まぼろしの薩摩切子」展 [場所：4,3F 展示室]

主 催: サントリー美術館/日本経済新聞社/テレビ東京

観 覧 料: 有料 ※ただし中学生以下は無料。料金詳細は別紙ご参照下さい。



薩摩切子 紅色被皿



薩摩切子 藍色被船形鉢



薩摩切子 黄色小鉢

※写真はサントリー美術館蔵

■ 3/28（土）「薩摩切子展スライドレクチャー（20:00～20:30）[場所：6F ホール]

学芸員によるスライドレクチャー。薩摩切子展の見所をご紹介します。

■ 3/28（土）川井郁子スペシャルミニライブ（21:30～22:00）

[場所：3F 展示室 吹き抜けスペース]

テレビやラジオなど多方面で活躍中のヴァイオリニスト川井郁子さんを迎えてのスペシャルミニライブ。ダイヤモンドのような輝きの薩摩切子とともに、ガラスのヴァイオリン（玻璃王バイオリン）の華麗な演奏もご紹介します。

出演：川井郁子 共演：朝川朋之（ハーブ）※スペシャルドリンク付き

関連プログラム

<オープニングイベント>

3/28（土） 17:30～(予定) ※詳細検討中

<アートラリー>

スペシャルプログラム、各美術館・施設プログラムと周辺ギャラリー、店舗等で展開するスタンプラリーを実施予定。※詳細検討中

<アートクーポン>

各施設、周辺エリアの店舗の協力で、六本木アートナイト限定のスペシャルクーポンも検討中。

国立新美術館、サントリー美術館 観覧料について

◎国立新美術館 「ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち」

観覧料：当日：一般 1,500 円、大学生 1,200 円、高校生 800 円、中学生以下無料

前売：一般 1,300 円、大学生 1,000 円、高校生 600 円

団体：一般 1,200 円、大学生 900 円、高校生 500 円

(団体料金の適用は 20 名以上)

▽3/27(金)、3/28(土)、3/29(日)は高校生の無料招待日(学生証提示が必要です)

※前売券の販売は 2009 年 1 月 7 日(水)～3 月 24 日(火)まで。

※前売券は展覧会公式サイト、チケットぴあ、ローソンチケット他で取り扱っています。

◎国立新美術館 「アーティスト・ファイル 2009—現代の作家たち」

観覧料：当日：一般 1,000 円、大学生 500 円

前売：一般 900 円、大学生 400 円

団体：一般 800 円、大学生 400 円 (団体料金の適用は 20 名以上)

▽3/28(土)は無料招待日

▽会期中に当館で開催中の企画展、及び公募展のチケット、またはサントリー美術館、森美術館で開催中の企画展チケット(半券可)を提示された方は団体料金が適用されます。

※前売券、及び当日券はチケットぴあ、ローソンチケットで取り扱っております。

◎サントリー美術館 「一瞬のきらめき まぼろしの薩摩切子」展

観覧料：当日：一般 1,300 円、大・高校生 1,000 円、中学生以下無料

前売：一般 1,100 円、大・高校生 800 円

▽国立新美術館、森美術館、21_21 DESIGN SIGHT の企画展チケットの半券を提示された方は 100 円割引でご入館いただけます。

▽夜間ペア割引：18 時以降ペアでご来場の方は、特別料金にてご入館いただけます。

ペア：一般 2,000 円、大・高校生 1,400 円

▽夜間割：18 時以降ご来場の方は、割引券持参で 100 円割引にてご入館いただけます。

割引券：<http://www.suntory.co.jp/sma/common/ticket.pdf>

※前売券の販売は、2009 年 2 月 7 日(土)から 3 月 27 日(金)まで。

※チケット販売場所は、サントリー美術館受付・チケットぴあ・ローソンチケットで取り扱っております。